

# 「日本体育大学スポーツ科学研究」執筆要領

平成24年4月17日

## 1. 投稿原稿の種類

規程の第3条に定められているように、論文の種類は、総説、原著論文（実践研究を含む）、研究資料、研究報告があり、和文または英文とする。

- 1) 「総説」は、特定の研究領域に関する、特定の視点に基づく体系的なまとまりを持つことが必要である。規程の第4条に定められているように、「総説」は原則として、編集委員会の依頼によるものとする。
- 2) 「原著論文（実践研究を含む）」は、科学論文としての内容と体裁を整えているもので、新たな知見をもたらすものであることが必要である。また、現場からの貴重な情報を基にした研究、指導法に関する実用的研究、総合的に分析した研究等、実践研究も含むものとする。
- 3) 「研究資料」は、調査や実験の結果を主体にした報告であり、学術研究上、客観的な資料として価値が認められるものである。この場合、原著論文に必要な見出しや、それに相当する内容のすべてを含む必要はないが、関連研究とのつながりの中で、その資料を提出することの意義が明らかであり、資料そのものの説明が十分になされていることが必要である。
- 4) 「研究報告」は、調査や実験の結果を主体にした報告であり、学術研究の発展に寄与できるものであることが必要である。

## 2. オンライン投稿

- 1) 論文の投稿は、オンライン投稿として随時受け付ける。
- 2) 投稿論文は原則下記のソフトウェアで作成する。
  - ・本文ファイル：Microsoft Word
  - ・図・表・写真ファイル：Microsoft Word、Excel、PowerPoint
- 3) 投稿先および連絡先  
総合スポーツ科学研究推進センター（東京・世田谷キャンパス G階）  
担当：中嶋 E-mail：nakajima\_m@nittai.ac.jp Tel：03-5706-0931（内線600）

## 3. 原稿のフォーマット

- 1) 用紙設定  
A4版縦置き横書きとし、全角40字45行で、フォントは10.5ポイント、余白は上下左右に各30mmのページ設定とする（1ページ、1,800字）。
- 2) 原稿には、ページ下部中央に通し番号をつける。

## 4. 論文作成上の注意

- 1) 投稿論文の種類  
論文の第1ページ左上に、投稿論文の種類（総説、原著論文、研究資料、研究報告）の別を明記する。
- 2) 表題
  - ・表題には、原則として略語、略称は用いない。
  - ・英文タイトルも付記する。
- 3) 著者名
  - ・著者名は、姓・名を略さず記載する。

- ・共著者は、当該研究・執筆に対して寄与することの多い人を、必要最小限に記載する。
  - ・援助者については、本文末尾の謝辞において記載する。
  - ・ローマ字による著者名も付記する。
- 4) 所属機関
- ・著者の所属機関名を記載する。
  - ・著者が複数で所属機関が異なる場合は、数字を使って著者名と所属機関名とを対応づける。
- 5) 抄録
- ・原著論文および研究資料には、600語以内の英文抄録を記載する。同時に、英文抄録の和訳文も付記する。
  - ・研究報告には、400文字以内の和文抄録を記載する。
- 6) キーワード
- ・投稿原稿には日本語・英語のキーワードを記載する。
  - ・キーワードは、論文の内容や特色を的確に示し、検索にも役立ち得るものとする。
  - ・キーワードの数は、3つ以上5つまでとする。
- 7) 原稿ページ数
- ・総説、原著論文、研究資料については、抄録（和・英）、本文、図・表・写真、文献表すべてを含めて、30 ページ（54,000 文字）以内とする。
  - ・研究報告は、抄録（和）、本文、図・表・写真、文献表等すべてを含めて、10 ページ（18,000 文字）以内とする。
5. 本文
- 1) 論文構成
- 原則として、目的、方法、結果、考察、結論、文献表から成立っていることが望ましい。
- 2) 文体
- ・現代かなづかい、当用漢字、ひらがな書きとする。
  - ・外来語は、カタカナで書きとする。
- 3) 数字
- 数を表示する場合は、原則としてアラビア数字を用いる。
- 4) 単位
- 計量単位は、原則として国際単位系(SI単位系)とする。
- 5) 引用
- ・論文中で文献を引用する場合は、基本的な文献を厳選し、正確に引用する。本文中の文献は原則として著者名と発行年で示す。
  - ・引用した文献はその個所の右肩上に<sup>1),2)</sup>のように掲出順に番号をつけ、すべて文献表に記載する。
  - ・引用文献の見出し語は「文献」とする。
- その他、引用に関する表記方法
- (1)本文中で文献の一部を直接引用する場合は、引用した語句または文章を、和文の場合は「」、英文の場合は“ ”でくくる。
- (2)著者が2名の場合、和文の場合は中黒（・）、英文の場合は“and”を用いる。著者が3名以上の場合、筆頭著者の姓の後に、和文の場合は「ほか」、英文の場合は“et al”を用いる。複数の文献が連続する場合にはセミコロン（;）でつなぎ、筆頭著者のアルファベット順を優先して列挙する。
- (3)同一著者の文献が複数ある場合は、括弧内の発行年をコンマ（,）でつなげる。同一著者の同一年に発行された複数の論文は発行年の後にa, b, c・・・をつけて区別する。

- (4) 翻訳書の著者を表記するときは、カタカナ表記とする。原著は英文表記とする。
- (5) WebサイトおよびWebサイトに掲載されているPDFファイルなどを参考文献とする場合は、(著者名, 発行年) または (著者名, online) と表記する。発行年やファイル名が特定できない場合は、(著者名, online) と表記する。同一著者の同一年に発行された複数の論文は発行年の後にa, b, c…をつけて区別し、発行年が特定できない場合は、文献リストの表示順 (1, 2, 3, …) をつけて区別する。

6) 注記

- ・注は本文で説明するのが適切ではなく、しかも補足的に説明することが明らかに必要なときのみ用い、その数は最小限にとどめる。
- ・注をつける場合は、本文のその個所の右肩上に<sup>注1), 注2)</sup>のように掲出順に番号をつけ、本文と文献表の間に記載する。
- ・注記の見出し語は「注」とする。

6. 図・表・写真

図・表・写真には、掲出順に、それぞれ一連番号とキャプションを付ける。その際、図・写真の番号およびキャプションは図・写真の下に、表の番号及びキャプションは表の上に付ける。図・表・写真は、文中の該当箇所に記載する。

7. 謝辞

研究の過程で、何らかの援助を受けた場合には、「掲載可」の判断がなされ、印刷原稿を提出する際に「謝辞」の節を設け、援助者および機関の名称並びに内容等を記載する。

8. 文献表の作成

文献表の見出し語は「文献」とする。

1) 定期刊行物 (雑誌)

表記は、著者名 (発行年) 論文名. 誌名, 巻 (号) : ページ.の順とする。

(1) 著者名および発行年

- ・共著の場合、和文の場合には中黒 (・)、英文の場合には“and”で続ける。
- ・発行年は著者名のすぐ後に ( ) 内に記入し、論文名と区切る。

(2) 論文名

- ・論文名の最後はピリオド (.) を打つ
- ・英文では、題目の最初の文字だけを大文字とする。

(3) 誌名

- ・和文誌の場合は、略記せず、誌名全体を記載する。
- ・英文誌の場合は、その雑誌に指定された略記法、または広く慣用的に用いられている略記法で記載する。
- ・誌名の最後はコンマ (,) を打つ。

(4) 巻号およびページ

- ・巻、号、ページは数字で統一した簡略法とする。
- ・巻号の後にコロロン (:) をつけ、ページと区切る
- ・ページは論文の開始ページと終了ページをハイフン (—) で結び、最後にピリオド (.) を打つ。

[例] 高橋健夫(2000)子どもが評価する体育授業課程の特徴:授業課程の学習行動及び指導行動と子どもによる授業評価との関係を中心に. 体育学研究, 45(2):147-162

## 2) 単行本

### (1) 単行本全体の場合

表記は、

著者名(発行年)書名(版数、ただし初版は省略). 発行所:発行地, 引用ページ(p. またはpp.).  
の形式とする。

- ・引用箇所が限定できない場合には、ページは省略する。
  - ・編集(監修)書の場合には、「編」、「監」、あるいは「編著」と表記する。
  - ・英文では編者が1人の場合は(Ed.)、複数の場合は(Eds.)と表記する。
- [例] 高橋健夫編(2010)体育科教育学入門(新版). 大修館書店:東京.

### (2) 単行本の一部の場合

表記は、

著者名(発行年)論文(章)の題名. 編集(監修)者. 発行所:発行地, 引用ページ(p. またはpp.).  
の形式とする。

### (3) 翻訳書の場合

- ・原著者の姓をカタカナ表記し、その後ろにコロン(:)を付けて訳者の姓名を表記する。
- ・共訳の場合は中黒(・)で、訳者が3人以上の場合は「:…ほか訳」と省略して筆頭訳者だけ表記する。

## 3) Webサイトの場合

Webサイトの資料を引用する場合は、以下の点に注意する。

- ・他に参照可能な資料(図書や雑誌等)がないことの確認をする。
- ・著者名と題目およびサイトの名称の確認をする。
- ・参照時のURLおよび日付の記録をする。
- ・内容の適切な保存(プリントアウト等)をする。

文献表の表記は、

著者名(発行年) Webページの題目, Webサイトの名称, URL, (参照日)の形式とする。

以上